

越谷市立大袋東小学校「エコフェスティバル」のワークショップ

越谷市立大袋東小学校では、子どもたちの環境への意識を高める教育活動として、「エコフェスティバル」を開催しています。児童を1～6年生で構成される縦割りグループに分けて、各グループが環境に関する様々な教室を回り、体験的に学習する取組です。

ごみを減らす方法を買う時から考えよう！ - グリーン購入 -

ねらい 容器包装ごみを減らす方法を「捨てる」時ではなく「買う」時から考えます。

背景 平成25年6月22日(土)9:00～12:10(30分×4回) 場所：越谷市立大袋東小学校 参加者：140名(1～6年生のグループ約35名×4回) 講師：グリーン購入ネットワーク(GPN)事務局

実施

段階	作業内容																
導入	講座のねらい「ごみを減らす方法を買う時から考えること」を確認します。																
ステップ1	<p>グループワーク 食べ終わると「ごみ」になるものはいくつある？</p> <ul style="list-style-type: none"> 容器包装が異なる品物(3種類)のうち、各グループで1種類の品物を担当します。グループ内で品物の実物を見て、中身を食べ終わるとごみになるものはいくつあるのかを話し合い、数えます。 <p>【対象にした品物】A. 個包装・外袋に入ったクッキー、B. 外箱・トレー・中袋に入ったクッキー、C. 缶・トレー・個包装に入ったクッキー</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループが数えたごみの数を発表します。 <p>児童の意見</p> <p>食べ終わると「ごみ」になるものの個数と数え方</p> <p>異なる4クラスに対して、4回同じプログラムを実施した結果、「A. 個包装・外袋に入ったクッキー」と「B. 外箱・トレー・中袋に入ったクッキー」は4回とも同じ回答でした。一方、「C. 缶・トレー・個包装に入ったクッキー」は、クッキーを食べ終わった後の缶の使い方によって、3つの回答に分かれました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A. 個包装・外袋に入ったクッキー</th> <th>B. 外箱・トレー・中袋に入ったクッキー</th> <th>C. 缶・トレー・個包装に入ったクッキー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみの個数(回答)</td> <td>23個 (4クラスとも同じ回答)</td> <td>3個 (4クラスとも同じ回答)</td> <td>・19個(2クラス) ・20個(1クラス) ・21個(1クラス)</td> </tr> <tr> <td>品物(実物)</td> <td>個包装22枚、 外袋1枚</td> <td>トレー1個、 中袋1枚、外箱1個</td> <td>缶(ふた1個、本体1個)、個包装15枚、 トレー1個、気泡緩衝材2個、乾燥剤1個</td> </tr> <tr> <td>数え方</td> <td>・外袋を開け、中身を並べて数える。 ・外袋の表示(個数)を見て、数える。</td> <td>外箱を開け、中身を出して、数える。</td> <td>・缶を開け、中身を並べて、数える。 ・缶は「ごみ」になるかどうか、クラスによって判断が異なり、ごみの個数が異なった。 【19個と回答したクラスの意見】 缶は入れ物として使うので、ごみではない。 【20個と回答したクラスの意見】 缶(本体)は入れ物として使うので、ごみではない。 【21個と回答したクラスの意見】 いずれ、缶もごみになる。</td> </tr> </tbody> </table>		A. 個包装・外袋に入ったクッキー	B. 外箱・トレー・中袋に入ったクッキー	C. 缶・トレー・個包装に入ったクッキー	ごみの個数(回答)	23個 (4クラスとも同じ回答)	3個 (4クラスとも同じ回答)	・19個(2クラス) ・20個(1クラス) ・21個(1クラス)	品物(実物)	個包装22枚、 外袋1枚	トレー1個、 中袋1枚、外箱1個	缶(ふた1個、本体1個)、個包装15枚、 トレー1個、気泡緩衝材2個、乾燥剤1個	数え方	・外袋を開け、中身を並べて数える。 ・外袋の表示(個数)を見て、数える。	外箱を開け、中身を出して、数える。	・缶を開け、中身を並べて、数える。 ・缶は「ごみ」になるかどうか、クラスによって判断が異なり、ごみの個数が異なった。 【19個と回答したクラスの意見】 缶は入れ物として使うので、ごみではない。 【20個と回答したクラスの意見】 缶(本体)は入れ物として使うので、ごみではない。 【21個と回答したクラスの意見】 いずれ、缶もごみになる。
	A. 個包装・外袋に入ったクッキー	B. 外箱・トレー・中袋に入ったクッキー	C. 缶・トレー・個包装に入ったクッキー														
ごみの個数(回答)	23個 (4クラスとも同じ回答)	3個 (4クラスとも同じ回答)	・19個(2クラス) ・20個(1クラス) ・21個(1クラス)														
品物(実物)	個包装22枚、 外袋1枚	トレー1個、 中袋1枚、外箱1個	缶(ふた1個、本体1個)、個包装15枚、 トレー1個、気泡緩衝材2個、乾燥剤1個														
数え方	・外袋を開け、中身を並べて数える。 ・外袋の表示(個数)を見て、数える。	外箱を開け、中身を出して、数える。	・缶を開け、中身を並べて、数える。 ・缶は「ごみ」になるかどうか、クラスによって判断が異なり、ごみの個数が異なった。 【19個と回答したクラスの意見】 缶は入れ物として使うので、ごみではない。 【20個と回答したクラスの意見】 缶(本体)は入れ物として使うので、ごみではない。 【21個と回答したクラスの意見】 いずれ、缶もごみになる。														
ステップ2	<p>グループワーク 「ごみ」になるものは、いるもの？いないもの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ステップ1で挙げられた「ごみ」は、買った時に必要であったか(ごみになる前の役割は何か)を考えます。 グループ内でフリップ「いるもの？いないもの？」の該当欄に、各自1つシールを貼ります。「いる」または「いない」と思った理由を話し合います。 各グループで話し合った結果を発表し、全体で共有します。 																

段階	作業内容															
<p>ステップ2</p>	<p>・各グループの発表内容を下記の視点で整理します。</p> <p>『ごみ』になるものはいる？いない？』を決めた理由の視点 「ごみ」になる前の役割を考えた、全部食べ終わるまでにかかる「時間」を考えた、食べ終わった後も「いる」ものかどうかを考えた</p> <p>『ごみ』になるものはいる？いない？』を決めた理由は、「私たちの暮らし」の中と外（クッキーの一生）のどの段階に関わるのかを考えます。</p> <div data-bbox="411 405 1417 891" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> </div> <p>・大人がお菓子を選ぶ時の視点「何人で食べるのか(1人?2人以上?)」、「どこで食べるのか(家の中?外?)」、「いつ食べるのか(夏?冬?)」を紹介します。</p>															
	<p>児童の意見</p> <p>A. 個包装・外袋に入ったクッキー（ステップ1 ごみの個数：23個）</p> <p>個包装と外袋を「いるものだと思う」と回答した児童は、私たちの暮らしの中と外を含む、クッキーの一生に着目していました。私たちの暮らしの外の出来事として、輸送や販売の段階における包装の役割を考えた、私たちの暮らしの中の出来事として、食べきれない時に保存するという包装の役割や、包装を排出した後のリサイクルの可能性を考えたりしていました。</p> <p>個包装と外袋を「いないものだと思う」と回答した児童は、私たちの暮らしの中の出来事に着目して、食べきれない時に保存する方法を考えたり、できる限り再使用することを考えた末、「ごみになるからいない」と考えたりしていました。</p> <table border="1" data-bbox="384 1368 1453 1973"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>(包装は)いるものだと思う</th> <th>(包装は)いないものだと思う</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">回答者数</td> <td>25人(46人中)</td> <td>21人(46人中)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理由</td> <td>私たちの暮らしの外の出来事(輸送)</td> <td>『ごみ』なる前の役割を考えた ・外の袋がないと、(個包装の)クッキーがばらばらになるから。 袋(個包装)があるので、クッキーが粉々になるわけではないが。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>私たちの暮らしの中の出来事</td> <td>全部食べ終わるまでにかかる『時間』を考えた ・1日で食べきれない時にしまっておけるから。 食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・ごみになっても、プラスチックをリサイクルできるから。</td> <td>全部食べ終わるまでにかかる『時間』を考えた ・1日で食べきれない時は、袋ではなくて、家のお菓子のカゴに入れるので、袋はいらないから。 食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・箱と違って、袋は図工で使えないから。 ・外の袋は使えないため、ごみになる。 ・ごみがたくさん出るから。</td> </tr> </tbody> </table>			(包装は)いるものだと思う	(包装は)いないものだと思う	回答者数		25人(46人中)	21人(46人中)	理由	私たちの暮らしの外の出来事(輸送)	『ごみ』なる前の役割を考えた ・外の袋がないと、(個包装の)クッキーがばらばらになるから。 袋(個包装)があるので、クッキーが粉々になるわけではないが。		私たちの暮らしの中の出来事	全部食べ終わるまでにかかる『時間』を考えた ・1日で食べきれない時にしまっておけるから。 食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・ごみになっても、プラスチックをリサイクルできるから。	全部食べ終わるまでにかかる『時間』を考えた ・1日で食べきれない時は、袋ではなくて、家のお菓子のカゴに入れるので、袋はいらないから。 食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・箱と違って、袋は図工で使えないから。 ・外の袋は使えないため、ごみになる。 ・ごみがたくさん出るから。
		(包装は)いるものだと思う	(包装は)いないものだと思う													
回答者数		25人(46人中)	21人(46人中)													
理由	私たちの暮らしの外の出来事(輸送)	『ごみ』なる前の役割を考えた ・外の袋がないと、(個包装の)クッキーがばらばらになるから。 袋(個包装)があるので、クッキーが粉々になるわけではないが。														
	私たちの暮らしの中の出来事	全部食べ終わるまでにかかる『時間』を考えた ・1日で食べきれない時にしまっておけるから。 食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・ごみになっても、プラスチックをリサイクルできるから。	全部食べ終わるまでにかかる『時間』を考えた ・1日で食べきれない時は、袋ではなくて、家のお菓子のカゴに入れるので、袋はいらないから。 食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・箱と違って、袋は図工で使えないから。 ・外の袋は使えないため、ごみになる。 ・ごみがたくさん出るから。													

段階	作業内容																																
ステップ2	<p>B. 外箱・トレイ・中袋に入ったクッキー（ステップ1 ごみの個数：3個）</p> <p>外箱とトレイ、中袋を「いるものだと思う」と回答した児童は、私たちの暮らしの外の出来事に着目して、店頭の様子を想像しながら、輸送や販売の段階における包装の役割を考えていました。</p> <p>外箱とトレイ、中袋を「いらぬものだと思う」と回答した児童は、私たちの暮らしの中の出来事に着目して、箱やトレイを触って強度を確認しながら、できる限り再使用方法を考えたり、それでも「ごみになるからいらぬ」と考えたりしていました。</p> <table border="1" data-bbox="384 360 1453 801"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>(包装は)いるものだと思う</th> <th>(包装は)いらぬものだと思う</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">回答者数</td> <td>10人(38人中)</td> <td>28人(38人中)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理由</td> <td>私たちの暮らしの外の出来事(輸送)</td> <td>『ごみ』なる前の役割を考えた ・運ぶ時にクッキーがわれるから。 ・クッキーを包んでいる(守っている)から。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>私たちの暮らしの中の出来事</td> <td></td> <td>食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・箱の使い道がないから。 ・箱はこわれるので、なおす時にテープを使い、資源のむだづかいになるから。 ・箱とトレイが丈夫ではなく、使い捨てにみえるから。 ・中の袋はいらぬ。ごみになるから。</td> </tr> </tbody> </table> <p>C. 缶・トレイ・個包装に入ったクッキー（ステップ1 ごみの個数：19～21個）</p> <p>A、Bのクッキーと比較して、Cのクッキーには多様な容器包装が使われています。児童は、特に、缶と個包装に注目していました。缶と個包装を「いるものだと思う」と回答した児童は、クッキーを壊れないように運ぶ点に着目して、輸送や販売の段階における包装の役割を考えていました。また、私たちの暮らしの中でクッキーを安全においしく保存することや、かわいいデザインの缶を長く大切に使うことを考えていました。</p> <p>缶を「いらぬものだと思う」と回答した児童は、缶は長く大切に使えるものであることを認めつつ、長期的に見て、「いずれごみになるから、本当にいるものだろうか?」と考えていました。また、缶とトレイ、気泡緩衝材、乾燥剤をまとめて包装と捉えると、缶は長く使えても、他に使い捨ての包装など(トレイ、気泡緩衝材、乾燥剤)があるため、「全体としていらぬものだと思う」と考えていました。</p> <table border="1" data-bbox="384 1153 1453 1749"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>(包装は)いるものだと思う</th> <th>(包装は)いらぬものだと思う</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">回答者数</td> <td>33人(45人中)</td> <td>12人(45人中)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理由</td> <td>私たちの暮らしの外の出来事(輸送)</td> <td>『ごみ』なる前の役割を考えた ・缶がないと、クッキーが破損してしまうから。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>私たちの暮らしの中の出来事</td> <td>全部食べ終わるまでにかかる『時間を考えた』 ・袋(個包装)がないとクッキーがばらばらになるから。 ・クッキーが包まれていないと、ばいきんがつくから。 食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・缶をアクセサリー入れにするから。 ・缶を入れ物にして使えるから。 ・缶は食べ終わった後、他のことに使えるから。</td> <td>食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・缶も、いずれごみになるから。 ・缶は使えるけれど、他に使えないものが多いから。</td> </tr> </tbody> </table>					(包装は)いるものだと思う	(包装は)いらぬものだと思う	回答者数		10人(38人中)	28人(38人中)	理由	私たちの暮らしの外の出来事(輸送)	『ごみ』なる前の役割を考えた ・運ぶ時にクッキーがわれるから。 ・クッキーを包んでいる(守っている)から。		私たちの暮らしの中の出来事		食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・箱の使い道がないから。 ・箱はこわれるので、なおす時にテープを使い、資源のむだづかいになるから。 ・箱とトレイが丈夫ではなく、使い捨てにみえるから。 ・中の袋はいらぬ。ごみになるから。			(包装は)いるものだと思う	(包装は)いらぬものだと思う	回答者数		33人(45人中)	12人(45人中)	理由	私たちの暮らしの外の出来事(輸送)	『ごみ』なる前の役割を考えた ・缶がないと、クッキーが破損してしまうから。		私たちの暮らしの中の出来事	全部食べ終わるまでにかかる『時間を考えた』 ・袋(個包装)がないとクッキーがばらばらになるから。 ・クッキーが包まれていないと、ばいきんがつくから。 食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・缶をアクセサリー入れにするから。 ・缶を入れ物にして使えるから。 ・缶は食べ終わった後、他のことに使えるから。	食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・缶も、いずれごみになるから。 ・缶は使えるけれど、他に使えないものが多いから。
		(包装は)いるものだと思う	(包装は)いらぬものだと思う																														
回答者数		10人(38人中)	28人(38人中)																														
理由	私たちの暮らしの外の出来事(輸送)	『ごみ』なる前の役割を考えた ・運ぶ時にクッキーがわれるから。 ・クッキーを包んでいる(守っている)から。																															
	私たちの暮らしの中の出来事		食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・箱の使い道がないから。 ・箱はこわれるので、なおす時にテープを使い、資源のむだづかいになるから。 ・箱とトレイが丈夫ではなく、使い捨てにみえるから。 ・中の袋はいらぬ。ごみになるから。																														
		(包装は)いるものだと思う	(包装は)いらぬものだと思う																														
回答者数		33人(45人中)	12人(45人中)																														
理由	私たちの暮らしの外の出来事(輸送)	『ごみ』なる前の役割を考えた ・缶がないと、クッキーが破損してしまうから。																															
	私たちの暮らしの中の出来事	全部食べ終わるまでにかかる『時間を考えた』 ・袋(個包装)がないとクッキーがばらばらになるから。 ・クッキーが包まれていないと、ばいきんがつくから。 食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・缶をアクセサリー入れにするから。 ・缶を入れ物にして使えるから。 ・缶は食べ終わった後、他のことに使えるから。	食べ終わった後も『いる』ものかどうかを考えた ・缶も、いずれごみになるから。 ・缶は使えるけれど、他に使えないものが多いから。																														
ステップ3	<p>全体 買う時から考えるグリーン購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人が選んだ「容器包装が少ない品物」の事例を紹介します。 ・ごみを減らすには、作る量を減らす・長く使う・どうしても不要な時にはリサイクルできると良いこと(3R: Reduce、Reuse、Recycle)を説明します。 ・みんなが買い物の時に環境を考えて品物を選ぶと、選んだ品物の人気が出て、世の中に広がり、品物の作り方・売り方(社会)を変えること(グリーン購入)を説明します。 ・グリーン購入クイズを行い、自分ができることは何かを確認します。 																																